

宮古島市立伊良部中学校 ～ 地域の主要産業を学ぼう ～

◆講師名

<観光リゾート産業>

一般社団法人 宮古島観光協会

山口 綾子 氏

(観光名所の他にも、文化や歴史、自然等、宮古島に脈々と承継されてきた「大切なもの」を発信している)

<文化産業>

宮古織物事業協同組合

浦崎 美由希 氏

(600年の伝統を誇る宮古上布。歴史と伝統の継承を担っている)

●カリキュラム

※生徒は二手に分かれ、2コマそれぞれの講話・体験活動の授業を受ける

○観光リゾート産業

- ・宮古島の観光の現状と課題について
- ・サンゴの保全やゴミ問題といった環境保全の重要性
- ・体験『宮古島の観光案内の作り方』

○文化産業

- ・宮古島独自の伝統工芸である宮古上布の魅力とその背景について
- ・講師の道のり
- ・手作業で行われる工程の緻密さ
- ・体験『宮古上布の歴史や道具・素材・歴史に触れてみよう』

●取組みのPoint

- ・地元の主要産業について知る。
- ・地元産業の魅力を知る。
- ・『働く』について考える。
- ・仕事の楽しさ、大切さを学ぶ。
- ・職業の幅が広がり、各産業へ興味関心を持つ。
- ・話を聞くだけでなく、体験することで仕事のやりがいや魅力について知る。

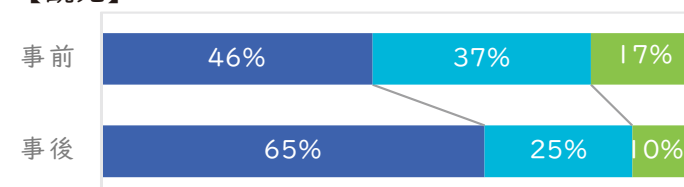


●児童生徒の声(実施後の事後アンケートより記載)

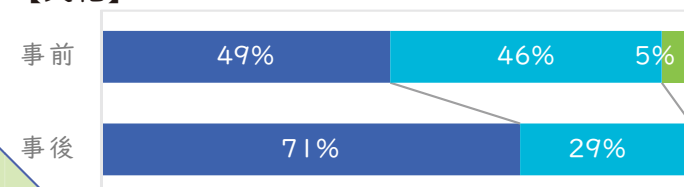
- ・伊良部島について知ることができたし、観光産業についても知ることができたので良かったです。
- ・観光の仕事内容や活動内容等が詳しくわかりました。仕事は楽しいこともあったとわかりました。
- ・未来のことで考えさせられて、楽しかった。
- ・宮古島の良いところを観光客に知ってもらうためにコースを作っているのは凄いと思いました。
- ・作品の名前、歴史、色々知れてよかった。またこういう授業をしたい。

◆伊良部中学校アンケート結果 「産業のイメージについて」

【観光】



【文化】



講話前は観光産業について、「良い印象」「少し良い印象」合わせて83%、文化産業95%の回答だったが、講話後には「良い印象」「少し良い印象」合わせて観光産業90%、文化産業100%となっており、良い印象への回答が増えていました。児童からの声では、『色々な課題を見つけ、それを活かして宮古島をもっとよくするために考えていた』『地域の伝統を守っている』という声が挙がっていました。



浦添市立浦添小学校(授業参観) ～ 子どもと一緒に産業について学ぼう ～

◆講師名

<観光産業>

株式会社ナチュラルブルー

星原 貴保 氏

(ダイビングインストラクター、自然ガイド等を務めている)

<医療産業>

琉球大学医学部保健学科

山口 航 氏

(看護学等を教えている)

●カリキュラム

○観光リゾート産業

- ・講師のライフストーリー
- ・講師の観光の仕事
- ・子ども達へメッセージ

○医療産業

- ・講師のライフストーリー
- ・看護師が働く場所
訪問看護やコミュニティーナース等、病院だけが活躍する場ではない
- ・体験『ペットボトルを使った心肺蘇生法体験』
万が一救急の現場に遭遇した際の対応を学ぶ

●取組みのPoint

- ・子どもと一緒に産業について学ぶことができる。
- ・各産業の魅力を知る。
- ・『働く』について考える。
- ・話を聞くだけでなく、体験も通すことで仕事のやりがいや魅力について知る。
- ・自分自身の将来をイメージする。

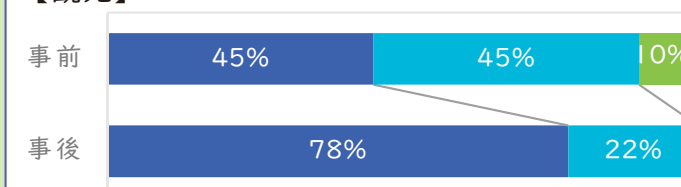
●児童生徒の声(実施後の事後アンケートより記載)

- ・どちらもとてもわかりやすく、まだ将来の夢を決めてないけど観光産業に興味湧いた。
- ・色んな人が仕事で、色んな人の役に立てるようにがんばっているんだなと思った。
- ・大変だけどやりがいもいっぱいあると思うことがわかった。
- ・たくさんの学びがありました。他の職業についても詳しく知りたいです。
- ・話を聞いて、仕事はお金だけのためのものではなく、人の役に立てることだとわかったし、仕事が楽しそうだしやってみたいなと思うことができました。

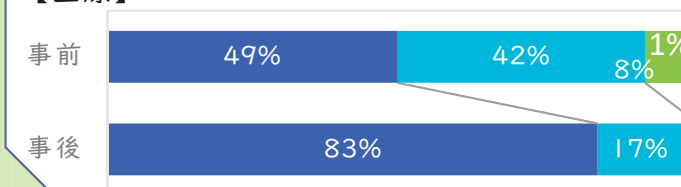


◆浦添小学校アンケート結果 「産業のイメージについて」

【観光】



【医療】



講話前は観光産業について、「良い印象」「少し良い印象」合わせて90%、医療産業91%の回答だったが、講話後には「良い印象」「少し良い印象」合わせて観光産業、医療産業共に100%となっており、良い印象への回答が増えていました。児童からの声では、『海等を目当てに来た観光客の人が楽しめるようにしてすごいなあと思いました』『人のことを助けている』という声も挙がっていました。



親子向けバスツアー ～ 働く現場を見て産業を学ぼう ～

◆見学施設

<物流・流通産業>

生活協同組合コープおきなわ（コープあっぷるタウン／商品セットセンター）

●カリキュラム

- ・事前課題「見学企業調べ」を生徒1人1人発表
- ・コープあっぷるタウン内見学・説明
 - ①バックヤード見学
 - ②手洗い選手権
 - ③フロア商品補充
- ・コープさんこだわりのお弁当で昼食
- ・西原商品セットセンター倉庫内見学・説明
 - ①ベジタブルセンター見学
 - ②集品のライン体験
 - ③ドローン実践
- ・見学を終えての感想共有（子ども達・保護者）

●取組みのPoint

- ・子どもと一緒に産業について学ぶことができる。
- ・各産業の魅力を知る。
- ・『働く』について考える。
- ・話を聞くだけでなく、体験も通すことで仕事のやりがいや魅力について知る。
- ・自分自身の将来をイメージする。

●保護者・児童生徒の声（実施後の事後アンケートより記載）

<保護者>

- ・普段見えないお仕事を見たり、体験することができたのでよかったと思います。商品が手に届くまでの見えないところが子どもに見てもらえて良かったです。
- ・普段入れない場所に入れたり、色々なお話を聞くことができて良かったです。貴重な体験ができました。
- ・商品を買う人の立場から売る人の立場や理念等、見聞きできて親子共に普段学べない機会に参加できて良かった。

<児童生徒>

- ・限られた時間でコープの色々を体験できて良かったです。
- ・コープの衛生面に気をつけていることがわかった。

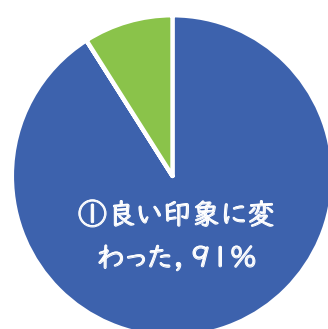


◆親子向けバスツアー アンケート結果 「産業への印象について」

【保護者】



【児童生徒】



※ ■ どちらともいえない

保護者が“良い印象に変わった”理由として、「バックヤードや冷凍庫体験をしながら、食品出しや集配仕分け等、体験させてもらって安心・安全等の心配りが勉強できた。楽しみながら衛生面に取り組んでいて従業員への配慮が見られて良かった」との声がありました。児童生徒からは、「衛生管理等がしっかり行われていて安心」「体験等もいっぱいしたからリアルにわかった」との声がありました。



実際に取り組んだ教員の声

身近にあるがあまりわからない職業の「物流・流通」と「観光業」について詳しく知ることができました。

（那覇中学校）



実際の業務内容や、働いている方の生の声を聞くことで講話前より、更に実感をもって感じる事ができたと思う。

（那覇中学校）

仕事の内容だけではなく、やりがいや苦勞等、具体的に話をしてくださったので、生徒達もよく理解できたと思う。

（球陽中学校）



沖縄県を支えている産業について様々な視点から体験をもとに感じる事ができたと思う。

（金武小学校）



調べたり、教師から聞いたりするより、実際にそこで働いている人の言葉が一番説得力があり、聞いている子ども達の顔がいい顔だった。

（山内中学校）



1つの職業でも色んな働き方があり、働き方は自分で可能性を広げていけると子ども達に伝わったのではないかと思います。

（神原小学校）



普段聞けない内容を聞くことができて、生徒の反応がとてもよかったように感じた。

（神原中学校）



講師の先生方の体験談から、社会の仕組みや職業選択の仕方についての考えが深まったと思う。

（神原中学校）

キャリア教育を進めていくにあたってとてもつまずく良い刺激になったと思います。教科書やタブレットを通してしか学べないことと違って、実際に生の職業人からその熱量で話を聴けて良かったです。休み時間でも、職業調べをしている子ども達が続々出ています！

（津覇小学校）



授業参観で実施してよかったと感じました。話ができた保護者から、楽しかったですと感想をもらいました。

（津覇小学校）

学校内では、教師という職業しか子ども達は見る事ができないため、実際に他の職業人の講話を聞くことによって、視野が広がったように感じる。

（南原小学校）

